



## 北上市長選 八重樫氏を推薦

連合岩手および連合花巻北上地協は、3月14日（火）北上和賀地区労働者福祉会館において、北上市長選挙（4月16日告示、23日投開票）の候補予定者「八重樫浩文氏」と政策協定を締結致しました。

冒頭、佐々木秀市会長より「ぜひ勝利を勝ち取って、働きがい・生きがいのある北上市政を展開していただきたい。連合岩手も傘下の組合と一丸となって推していきたい」と挨拶。

三者（八重樫候補予定者・連合岩手・花巻北上地協）による政策協定を締結後、連合岩手からの推薦状と地協からの推薦決定通知書を交付。

八重樫浩文氏からは、県職員時代に雇用対策・労働室長を務めた経験を踏まえ「企業や農林業は人材確保・育成が大きな課題だ。県で培った知識、ノウハウ、ネットワークそういった全てを懸けて、北上地区の雇用労働環境の整備改善に努めて参りたい。連合さまとも協力しながら政策に取り組みたい」と決意が述べられました。



2023年4月執行予定北上市長選挙  
政策協定書

2023年4月執行予定の北上市長選挙において、日本労働組合総連合会岩手県連合会（以下「連合岩手」という。）が、八重樫 浩文候補予定者（以下「候補予定者」という。）を推薦するに当たり、以下の協定を締結し、政策協定書を締結する。

- 基本理念**
  - 労働組合の理念として、憲法及び、基本的人権の尊重、国民主権を基とする日本国憲法の理念に則り、労働者保護を旨とする人権、自由、平等、民主主義を擁護し、社会的公正、正義を追求し、平和な社会および男女平等実現のための実現をめざす。
  - 私たちは、徳育、徳教などは真の自主的組織としての主体性を堅持しつつ、目的と結果を共有する状態および政治家を協同して、労働者とその家族の労働と生活環境の改善をはかり、業の「誇り」と「誇り」を築き立て、事業とする。
  - 私たちは、誰もが公平な労働条件のもと、多様な働き方を進んで社会に参画し、相互に支え合う「働くことを軸とする安心社会」の構築を通じて希望と安心の社会を実現する。
  - 私たちは、社会の労働環境の持続的改善を促す自覚し、保守的勢力と強固な連携の存在を確保し労働環境の改善のために努力する。
- 環境認識**

我が国の経済社会情勢は、ウクライナ下の、社会経済活動の正常化が懸念かつあり、サプライチェーンを中心に回復の兆しが見られる。しかし、ロシアによるウクライナ侵襲を背景とした国際的な原材料価格の高騰に加え、日常生活に不可欠なエネルギー・食料品等の価格上昇が続いている。労働者は実質賃金が低下している状況が続き、消費マインドに影響を及ぼしており、消費の停滞に陥っていない。これは、企業の経営にもマイナスの影響を生じかねない。このことから、国民の生活を守るネットワークの充実や関係する企業支援の拡充が求められている。

また、低（グリーン）トランスフォーメーション・低（デジタル）トランスフォーメーションを推進・社会の高度化につなげるため、インフレーションを抑制し社会全体の購買力低下を抑制して支えなければならない。そのような社会実情の下、民主主義をいかに守る政府、不安定雇用と格差の拡大、社会保障制度の持続可能性、環境の健全化、産業で気候変動などによる災害への対応とこうした課題が山積している。

我が国が直面している、少子高齢化、少子化、遅延化、産業における働き方改革の進行、教育・労働・医療・交通など関係領域に注目される各種制度の持続可能性、地域経済の衰退など多くの課題が山積しており、国民を支える公的サービスの必要性が確立している。

このような状況にあって、連合岩手と候補予定者は、相互に協同して「働くことを軸とする安心社会」を築くことにも取り組む覚悟を固め、誰もが公平な労働条件のもと多様な働き方を
- 基本姿勢**

連合岩手と候補予定者は、

  - 日本国憲法を遵守し、平和を尊び、地方自治の本意に即って行動する。
  - 働く者の地位・労働条件を改善し、労働者の権利の向上をはかる。
  - 連合が掲げる政策・制度の徹底の実現を促す。
  - 連合の政治活動を推進するため、各候補者においては互に協力し、努力していく。

2023年 3月 14日

北上市長選挙  
候補予定者 八重樫 浩文  
日本労働組合総連合会岩手県連合会  
会長 佐々木 秀市  
日本労働組合総連合会岩手県連合会花巻北上地域協議会  
議長 高橋 信哉